

播磨科学公園都市圏域定住自立圏

協定締結日：平成28年3月30日

圏域市町	圏域人口（R2国調）
たつの市（中心市）、宍粟市、上郡町、佐用町 [2市2町]	138,877人
	圏域面積
	1,327.11km ²

圏域の将来像

西播磨の未来を拓く連携と共生のまちづくりを目指して

主な取組

企業立地促進や合同就職説明会、移住・定住の促進

播磨科学公園都市への企業立地を促進するため、立地に伴う独自の優遇制度を設けるなど、産業用地等への企業誘致に取り組んでいる。また、ビジネスマッチングフェア、圏域市町合同就職説明会を開催（オンライン実施含む）。さらに、圏域の地域資源をWEBやパンフレット等で圏域内外に発信するとともに、東京や大阪での展示会に参加等により、定住人口の確保と交流人口の拡大に取り組んでいる。

在宅医療・介護連携ICTシステムの運用

医療と介護の両方を必要とする高齢者に対し、在宅医療と介護サービスを一体的に提供するため、医師と訪問看護師、ケアマネージャー、薬剤師がタブレット等による「在宅医療・介護連携ICTシステム」を運用し、リアルタイムに情報を共有し、往診及び服薬調整等を実施している。



特別支援学校センター的機能を活用した教育相談

県立西播磨特別支援学校を軸としたセンター的機能を活用し、同校教員（コーディネーター）を圏域内小中学校へ派遣。圏域内の小中学校において支援を必要とする児童生徒に対するより望ましい支援のあり方など、専門的な視点による助言・指導を受けて、教育相談を充実させている。

基本理念

- ◆ 安心して安定した暮らしを支える生活基盤の強化と生活機能の確保・充実
- ◆ 定住人口の確保と交流人口の拡大

病後児保育施設の相互利用

児童が病気の「回復期」である場合（病後児対応型）又は「回復期に至らない場合」であり、かつ、当面の症状の急変が認められない場合（病児対応型）において、当該児童を病院・診療所、保育所等に付設された専用スペース又は本事業のための専用施設で一時的に保育し、保護者の就労を支援するとともに、安心して子育てできる環境の充実を図っている。

また、圏域住民の施設相互利用が可能な制度として運用している。

「電子図書館」サービスをはじめとした圏域図書館の利用促進

図書館までの距離が遠い、移動が困難など図書館を利用することが不便である方等に対して、パソコンやスマートフォン、タブレット端末を使って24時間どこからでも利用できる電子書籍の貸出サービスを提供し、図書館機能の充実を図っている。また、圏域内の図書館で借りた本であれば圏域内のどの図書館でも返却できるサービスも実施している。さらに、図書館の利用促進のため、著名講師による読書講演会を実施している。

広報誌を活用した情報発信

構成市町が発行している広報誌に定住自立圏で実施する事業や各市町のイベント・観光情報を相互に掲載し、圏域住民の方々に、圏域事業への理解及び浸透に加え、交流機会の創出を図っている。